

# ワイヤレス LAN のコントローラ ( WLC ) 用の Microsoft Windows 2003 DNS サーバの検出の設定例

## 目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[ワイヤレス LAN コントローラ DNS ディスカバリ](#)

[WLC ディスカバリ用 Microsoft Windows 2003 DNS サーバの設定](#)

[トラブルシューティング](#)

[関連情報](#)

## 概要

シスコの Wireless Unified Architecture が展開されている場合、Cisco Aironet Lightweight アクセス ポイント ( LAP ) では、ワイヤレス LAN コントローラ ( WLC ) がその LAP とは別のサブネットにある場合でも、DNS サーバを使用して WLC を検出できます。

このドキュメントでは、WLC ディスカバリ用の Microsoft Windows 2003 DNS サーバを設定する方法について説明します。

## 前提条件

### 要件

次の項目に関する知識が推奨されます。

- DNS サーバに関する基礎知識
- Lightweight アクセス ポイント プロトコル ( LWAPP ) に関する基礎知識

### 使用するコンポーネント

このドキュメントは、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 ( デフォルト ) 設定の状態から起動しています。稼働中

のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください。

## 表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

## ワイヤレス LAN コントローラ DNS ディスカバリ

LAP はお客様のドメイン ネーム サーバ ( DNS ) を介してコントローラを検出できます。アクセスポイント ( AP ) でこれを実行するには、`CISCO-LWAPP-CONTROLLER.localdomain` への応答としてコントローラの IP アドレスを返すよう、DNS を設定する必要があります。ここで、`localdomain` は AP ドメイン名です。AP は、DHCP サーバから IP アドレスと DNS の情報を受信すると、DNS に接続して `CISCO-LWAPP-CONTROLLER.localdomain` を解決します。DNS からコントローラの IP アドレスのリストを受信すると、AP はコントローラに検出要求を送信します。

AP では、`CISCO-LWAPP-CONTROLLER.localdomain` の DNS 名の解決を試みます。AP が、1 つ以上の IP アドレスでこの名前を解決できる場合、AP は解決された IP にユニキャスト LWAPP ディスカバリ メッセージを送信します。LWAPP ディスカバリ要求メッセージを受信する各 WLC は、ユニキャストの LWAPP ディスカバリ応答を AP に返信します。

次のセクションでは、WLC ディスカバリ用の Microsoft Windows 2003 サーバを設定する方法について説明します。

## WLC ディスカバリ用 Microsoft Windows 2003 DNS サーバの設定

WLC ディスカバリ用 Microsoft Windows 2003 DNS サーバを設定するには、次の手順を実行します。

1. [Start] -> [Run] をクリックします。
2. `mmc` コマンドを入力して、[OK] をクリックします。[Microsoft Management Console] ウィンドウが表示されます。
3. [File] メニューから、[Add-Remove Snap-in] を選択します。
4. [Add/ Remove Snap-in] ウィンドウで、[Standalone] タブを選択して [Add] をクリックします。
5. [Add Standalone Snap-in] ウィンドウで、[DNS] を選択して [Add] をクリックします。次に、[Close] をクリックして [Add/ Remove Snap-in] ウィンドウに戻ります。[OK] をクリックします。DNS が [MMC] ウィンドウに表示されます。
6. 「+」記号を展開して、ドメイン コントローラを表示します。
7. ドメイン コントローラの横にある「+」を展開して、設定されている [Event Viewer]、[Forward Lookup Zones]、[Reverse Lookup Zones] を表示します。
8. [Forward Lookup Zones] の横にある「+」を展開します。リストされているドメインが表示されます。この例は [TLS.wireless] を示しています。
9. ドメインを選択して右クリックします。[New Host ( A )] をクリックします。新しいウィンドウが表示されます。
10. 名前のフィールドに `CISCO-LWAPP-CONTROLLER` と入力します。コントローラの管理

インターフェイス IP アドレスを入力して、[Add Host] をクリックします。この方法で、DNS サーバで CISCO-LWAPP-CONTROLLER ホスト名がコントローラの管理インターフェイスの IP アドレスにマッピングされます。これで、LAP がコントローラのディスカバリーを起動し実行する場合に、AP が DNS 名 CISCO-LWAPP-CONTROLLER.localdomain の解決を試みるようになります。一旦 WLC の管理 IP アドレスが認識されると、コントローラにユニキャスト LWAPP ディスカバリ要求メッセージが送信され、コントローラはディスカバリ応答を返します。完了したら、参加のプロセスを開始します。LWAPP ディスカバリと参加のプロセスに関する完全な詳細については、『[ワイヤレス LAN コントローラ \( WLC \) への Lightweight AP \( LAP \) の登録](#)』を参照してください。

## トラブルシューティング

AP は、DNS サフィックスが DHCP サーバから AP に供給されていない場合に、CISCO-LWAPP-CONTROLLER.cisco.com を検索します。

これは既知の問題です。LWAPP IOS AP は、起動すると CISCO-LWAPP-CONTROLLER ドメイン名の解決を試みます。

- まず、CISCO-LWAPP-CONTROLLER の解決を試みます。
- 次に、CISCO-LWAPP-CONTROLLER.cisco.com の解決を試みます。

これは、AP にデフォルトのドメイン サフィックスが設定されていない限り行われます (たとえば、DHCP サーバからなど)。この問題を解決するには、デフォルトのドメイン サフィックスを供給するように AP の DHCP サーバを設定します。

## 関連情報

- [Wireless LAN Controller \( WLC \) への Lightweight AP \( LAP \) の登録](#)
- [Lightweight Cisco Aironet アクセス ポイント用 DHCP オプション 43 の設定例](#)
- [Cisco 440X シリーズ ワイヤレス LAN コントローラの配備](#)
- [Cisco ワイヤレス LAN コントローラ コンフィギュレーション ガイド、リリース 5.0](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント - Cisco Systems](#)